

# YEG 青年部だより

2021年  
(令和3年)

9月号

全文は  
こちらから



こちらも  
ご覧ください!



## 砺波商工会議所青年部 加入について

日頃より当青年部へのご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。さて、当青年部は砺波商工会議所会員事業所の45歳までの若手経営者や従業員で組織している砺波市の商工業の発展を目的にした団体です。

当会での活動は砺波商工会議所主催イベントへの協力や各委員会で独自に企画運営する例会・事業があります。この活動を通して、異業種の若手経営者候補や事業所幹部候補が青年期でしかできない研鑽・交流を致します。

活動内容の例といたしましては、主催事業・オープン例会、共催事業となみらいアート2021、事業協力、やぐら大祭出店、ふれあい市出店、JA農業祭出店などがあります。近年では、会員間のコミュニケーションや新たなビジネスマッチングも生まれ、会員同士の繋がりがや絆も深まっています。入会される方の目的は様々ですが、青年部では1人でも多くの若手経営者や事業所幹部・候補者の方に入会していただきたいです。

青年部の活動にご興味のある方は、お気軽に砺波商工会議所青年部事務局金田までお問い合わせください。追って当委員も新規入会の受付をしています。多くの皆さまからのご連絡をお待ちしています。



絆委員会委員長 石黒大輔

## 富山県商工会議所青年部連合会親睦事業

去る、7月11日(日)に黒部市石田農林漁業体験実習館にて富山県商工会議所青年部連合会の会員親睦交流会事業がコロナウイルス感染症対策を徹底した上で開催されました。当日の様子、成果を澤田佳澄副委員長にお伺いしました。

本年度は「モルック」というスポーツを行いました。ソーシャルディスタンスも取りやすい為採用されたそうです。この交流をきっかけに多くの方と繋がりをもち、多くの情報を得やすい環境を整え、自企業の発展や青年部活動に活かして欲しいと澤田佳澄副委員長は語っておられました。

(全文のQRコードへ続く)

記者 清登達朗



## YouTube番組 よたかのじかん 絶賛配信中!

今年度、砺波商工会議所青年部の夜高事業は伝統文化を継承し、子どもたちに夜高の魅力や伝統文化に興味・関心を持つてもらいたいと活動しています。6月12日より、子ども向けのYouTube番組「よたかのじかん」を配信しています。子どもたちにアンケートを行い、夜高について気になること知りたいことを地域の夜高関係者が答えていく内容で、YouTubeを通して夜高を継承していきたいと思っています。(全文のQRコードへ続く)

記者 熊野皓太

第3回目も  
お子様と一緒に見てくださいね!



## 連載 青年部会員紹介!

どんな人なかが知ってる? 日々頑張っている、あこんこのアンちゃん、ネエちゃん砺波でこんな活躍しています!

### 「絆を大切に。」

石黒大輔(絆委員会委員長)  
事業所…石黒キーカーナー

親しみやすく、気さくな対応でお客様との絆を大事にしたい。その思いを語るのは、今年度絆委員会の委員長も務める、石黒キーカーナーの石黒大輔さんである。庄川町は青島で生まれ育ち、中学、高校、専門学校へと進路を進める。

その後、おじいさんがやっていた鍵師の職に就く。学生時代は吹奏楽部でチューバを吹いていたという。

(全文のQRコードへ続く)

記者 荒木悠史

昭和59年12月30日生まれ  
趣味 ゲートボール、サウナ、夜高  
好きな食べ物 鶏肉、魚、酒  
行きつけのお店 ほてとぼーい

### 「恩返しを胸に」

熊野皓太(NC総務委員会委員長)  
事業所…向くまの洗濯堂

砺波の老舗クリーニング店「くまの洗濯堂」。インパクトのあるロゴを目にする方も多いのではないだろうか。今回はくまの洗濯堂3代目、くまの音楽堂としても活躍しているニューチャレンジ総務委員会委員長、熊野皓太君にインタビューを行った。保育園の頃から歌うことが大好きで活発、反面落ち着きがなくケガが絶えない子供時代を過ごしたと本人は語る。(全文のQRコードへ続く)

記者 渋谷康佑

昭和62年1月27日生まれ  
中高大の部活 吹奏楽部  
趣味 歌うこと  
特技 ホルン  
家族構成 妻・長男6歳・長女5歳



砺波商工会議所青年部 加入について

日頃より当青年部へのご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

さて、当青年部は砺波商工会議所会員事業所の45歳までの若手経営者や従業員で組織している砺波市の商工業の発展を目的にした団体です。当会での活動は砺波商工会議所主催イベントへの協力や各委員会で独自に企画運営する例会・事業があります。この活動を通して、異業種の若手経営者候補や事業所幹部候補が青年期でしかない研鑽・交流を致します。

活動内容の例としましては、主催事業・オープン例会、共催事業・とらみらいアート2021、事業協力・やぐら大祭出店・ふれあい市出店・JA農業祭出店などがあります。近年では、会員間のコミュニケーションや新たなビジネスマッチングも生まれ、会員同士の繋がりや絆も深まっています。

入会される方の目的は様々ですが、青年部では1人でも多くの若手経営者や事業所幹部・候補者の方に入会していただきたいです。

青年部の活動にご興味のある方は、お気軽に砺波商工会議所青年部事務局金田までお問い合わせください。追って当委員会よりご連絡を差し上げます。いつでも新規入会の受付をしています。多くの皆さまからのご連絡をお待ちしています。

絆委員会委員長 石黒大輔



### 【お問合せ先】

砺波商工会議所青年部事務局 金田

TEL 0763(33)2109

## 富山県商工会議所青年部連合会親睦事業

去る、7月11日(日)に黒部市石田農林漁業体験実習館 屋内グラウンドにて富山県商工会議所青年部連合会の会員親睦交流会事業が開催されました。この事業は富山県商工会議所青年部連合会の会員親睦委員会が執り行っており、同委員会に砺波商工会議所から出向され、副委員長も務めておられる澤田佳澄副委員長に当日の様子、成果をお伺いしました。

本年度の事業の交流手段として実施したのはフィンランド発祥の『モルック』というスポーツです。計算しチームで戦略を考えながら身体も動かす事ができる事、年齢、運動神経にあまり依存せずできるという事、またコロナ禍におけるソーシャルディスタンスも取りやすい為採用されたそうです。

当日、チームは各単会が分かれるようにチーム編成が成されました。また各単会の会長が各チームリーダーとなるよう各会長にも分かれて頂きました。

砺波商工会議所青年部会員も各々のチームで活躍をされ、その中でも砺波商工会議所青年部の会長である富田会長はチームリーダーとして大活躍をされチームは2位でした。事業は大変な盛り上がりを見せ、チームの団結力が強まり、初対面の他単会の会員との交流が深まっていたという様子が伺えたそうです。またそれぞれの単会で担当している事業、地域、商工会議所青年部の運営について情報交換がなされていました。

この交流をきっかけに多くの方と繋がりをもち、多くの情報を得やすい環境を整え、自企業の発展や青年部活動に活かして欲しいと澤田佳澄副委員長は語っておられました。

この時節でこそ得られる情報、好機を掴む事ができる手段を増やす事ができる大変すばらしい事業だったと筆者は感じました。

記者 清登 達朗



YouTube番組 よたかのじかん 絶賛配信中!  
今年度、砺波商工会議所青年部の夜高事業は伝統文化を継承し、子どもたちに夜高の魅力を伝え興味・関心を持ってもらいたいと活動しています。

6月12日より、子ども向けのYouTube番組「よたかのじかん」を配信しています。  
子どもたちにアンケートを行い、夜高について気になることを地域の子高関係者が答えていく内容で、YouTubeを通して夜高を継承していきたいと思っています。

6月に市内のこども園、小学校にて行いました「夜高の魅力に触れよう教室」で子どもたちに告知したこともあり、初回の番組は視聴回数も伸ばすことができました。

今後2月まで配信していく予定で、Q&Aを通して子どもたちに夜高の魅力を伝え、来年こそは夜高の灯を取り戻そうと開催気運を高めていけるように努めていきます。

記者 熊野 皓太

第1回目配信(6月12日)



第3回目(8月14日)  
も  
お子様と一緒に見て  
くださいね!



第2回目配信(7月10日)



## 連載

# どんな人ながか知つとるけ？ 青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの  
アンちゃん、ネエちゃん姉波で  
こんな活躍しています！

「絆を大切に。」

石黒 大輔（絆委員会委員長）  
事業所 石黒キョーコーナ―

親しみやすく、気さくな対応でお客様との絆を大事にしたい。そう思いを語るのは、今年度絆委員会委員長の務める、石黒キョーコーナ―の石黒大輔さんである。庄川町は青島で生まれ育ち、中学、高校、専門学校へと進路を進める。その後、おじいさんがやっていた鍵師の職に就く。学生時代は吹奏楽部でチューバを吹いていたという。

仕事をしている上で大切にしていることはあるかと尋ねると、一歩間違えると泥棒になってしまふ。信用あつての仕事なので親しみやすさを大事にしている。また、直せるものはしっかり修理して直し、使えるものは長く使うようにしていると話した。

実は私も青年部に入る前、一度鍵を開けてもらったことがある。電話するとすぐに駆けつけてくれ、一瞬で鍵は開いた。あのスピードと対応力が信用に繋がっているのだと思った。

今年度は絆委員長も務める石黒さん。今年は5名の方が卒業される予定、相談できる先輩方が卒業されるのは寂しいが感謝の気持ちをしっかりと伝えると共に、新たな会員拡大もしていきたいと話した。

最後に、今後の夢はあるかと尋ねると「皓太（くまの洗濯堂）とアンサンプルコンテストに出たい！」と笑顔で語った。

記者 荒木 悠史



メモ

趣味

ゲートボール

サウナ

夜高

好きな食べ物

鶏肉 魚酒

行きつけのお店

【連載】  
青年部会員紹介！

日々頑張っている、あこんこの  
アンちゃん、ネエちゃん砺波で  
こんな活躍しています！

「恩返しを胸に」

熊野 皓太（NC総務委員会委員長）  
事業所 ㈱くまの洗濯堂

砺波の老舗クリーニング店「くまの洗濯堂」。インパクトのあるロゴを目にする方も多いのではないだろうか。今回はくまの洗濯堂3代目、くまの音楽堂としても活躍しているニューチャレンジ総務委員会委員長、熊野皓太君にインタビューを行った。

保育園の頃から歌うことが大好きで活発、反面落ち着きがなくケガが絶えない子供時代を過ごしたと本人は語る。

小学校入学を機にラグビーを始め、音楽にも興味があったが管楽器クラブにも所属、アルトホルンを担当していたそうだ。

中学校入学時、ラグビー部が無かった為吹奏楽部に入部、中学校3年時には生徒会長に立候補し生徒会長に就任、出町中学校で初めて生徒会新聞を作成した生徒会長だと当時を懐かしんだ。高校は強豪校で吹奏楽がやりたくて高岡商業に進学、3年時には吹奏楽部の部長に就任する事になる。「高校時代が一番厳しかった。当時はなぜこんな厳しいのか分からなかったが社会に出てから非常に為になっている。部訓である挨拶の励行・掃除の徹底・時間厳守 未だに自分の指針になっている」と話してくれた。

高校卒業後もマーチングを続ける為に大学を探していた彼の目に留まったパンフレットに書かれていた「北の大地でマーチングを！アメリカの先生が指導！部員60名！」この謳い文句に誘われ北海道の大学へ進学する事になるのだが、現実に入學してみたら部員6名、アメリカの先生は母国へ

帰国。マーチングどころでは無い悲惨な状態。慣れない土地、冬はマイナス20度、思い描いたマーチングはユメマボロシ。孤独で辛くて晴れた日には海ばかり見ている。今だから笑えるが詐欺にあつたと当時を振り返えた。

大学4年時に家業を継ぐことを考え始め、卒業と同時に札幌市内のクリーニング店で修業を始める。慣れない仕事、人間関係、とても辛い時期もあつたようだ。どうして急に継ぐことを決めたのか尋ねた所、とてもシンプルな答えが返ってきた。「長男だから」



札幌で2年修業した後、さらなる学びを求め

滋賀県へ修業に赴き、家業の売りにできるよう染み抜き技術のみっちり学んだ。25歳で砺波に帰郷、くまの洗濯堂へ入社する事となる。

活発だった10代、孤独だった大学時代、挫折を味わった札幌時代。過去があるから今がある。精神的に辛い時期、帰省すると声をかけてくれた地元の方や先輩、後輩。

「地元で根差し、お世話になった地元で恩返しをしたい」

一生懸命仕事をし、イベントでも一生懸命に歌を歌う。地元砺波への恩返しを胸に。

記者 渋谷 康佑

メモ

家族構成 妻・長男6歳・長女5歳

趣味 歌うこと

特技 ホルン